

## みんなのひろば

Message



市民と編集担当者とのおしゃべりコーナー「みんなのひろば」です。みなさまからいただいたメッセージを紹介していきます。今回は、前号(50号)のクイズ応募ハガキからです。

▼全国中学生人権作文コンテスト兵庫大会で最優秀賞になった作文を読んで、ご家族の障がい者を受け入れていった様子がよくわかりました。社会全体が差別のない心のバリアフリーの持ったすべての人が住みやすい状態になればいいと思います。(60代)

▼人権作文「私の弟」を読んだ「障害者権利条約」がある事、国際的に制定されたもの等の事を知る事ができました。人権広報誌を読んでいたのに今回障害という事を考えさせられ、生活していく上でそれぞれの目線で考える事の大切さを教えられました。少しはやさしい気持ち、思いやり

の心を忘れない人間になろうと強く思いました。(60代)



毛利さんのように、自分の家族のことを素直に表現していい人は、今、淡路市に少ないです。自分の置かれた環境を肯定的に受け入れられるその姿に感銘しました。社会全体を考えられる大人に育ってほしいです。

▼私は北淡野島に住んでいます。県立淡路高校から少し西の方にあるスーパーによく行きます。そこで最近外国の若者のグループが買い物をしていのに出会います。どこに住んでるのかなあ。かなりの量の食料をかごに入れてます。仲良く楽しそう。行儀よくレジに並んでいます。50号を読んでJPGA日本グローバルアカデミーの生徒さんだったのかと納得です。旧仁井小学校の辺りは今、活気に充ちています。こんな元気な若者が日本語を学んで日本の為にがんばり、また出身国の為に貢

献する教育を受けてるなんて、すばらしいことです。事故や災害にあわないよう。彼等の幸を心から祈っています。(70代)



北淡地域の富島には、ベトナムの派遣会社を運営する事務所もあります。そちらの方もわかりませんね。私たちもベトナムの文化を学習する必要がありますよね。

▼「じんけんくらしの扉」の小南広之社会福祉協議会長の人教役員だよりを読ませていただいた。小生も全国サミットに参加し、興隆寺地区の取組が、大いに参考になりました。「ここに暮らし続ける」という覚悟が必要ですね。(70代)



地域差はあるものの日常生活に不便を感じる人は多くなっています。「ここに暮らし続ける覚悟」を地域内で共有し、心が過疎化しないように取り組みましょう。

《メッセージをお寄せください》本紙への意見や感想、皆さまからの声を待っています。

TEL 0799-164-2521  
FAX 0799-164-2565  
Eメール /awaji\_jinken@city.awaji.lg.jp

### くらしのトピックス⑫ 淡路市社会福祉協議会

#### ぼれぼれ&北淡中学校1年生 12・46mの巻き寿司づくりで 交流

社協には、学校等から福祉体験や交流に関する協力依頼がしばしばあります。その際、「正しく理解することによる偏見の払拭」「共生理念への気づき」等、人権の視点を重視しています。

先日、北淡中学校から障がい者地域生活拠点『ぼれぼれ』との交流の相談があり、打ち合せを経て、1年生50人と、ぼれぼれメンバー10人とで長い巻き寿司作りで交流しようという事になりました。

交流当日、北淡産の海苔60枚を併せて、その上に寿司飯や具材を乗せ、掛け声とともに巻いた巻き寿司は、長さ12・46mになりました。中学生もぼれぼれの利用者も巻き寿司を巻くこと自体が初めてという人が沢山いましたが、想像以上の出来栄えに歓声があがりました。

中学生には、長い巻き寿司とともに、『ぼれぼれ』の存在や、先の理念をいつまでも心に留めてほしいと願います。

### ぼわんといい手話!! 第40回

手話は、ろうあ者が日常使用しているコミュニケーションの方法です。このコーナーでは、手話やろうあ者の生活等を紹介いたします。

#### 「名前」



(表現②) 右手の親指と人差指で作った丸を胸に当てる



(表現①) 左手のひらに右親指を当てる

ろうあ者の日常生活を知ろう⑩  
私が住んでいる地域で役員をしたことがあります。それがきっかけで交流の輪が広がり、聞かえないということを知り分かってもらえるようになりました。それまではろうあ者に遠慮されていた近所の方々も身振りや伝えてくれるようになり、私自身も地域を知り、機会となり、よい経験ができました。

協力：淡路聴力障害者協会  
手話サークル津名